



JAPIC NEWS

contents

■ 巻頭言

私たちの健康と環境

一般財団法人 日本医薬情報センター 産業医・医学博士 大高 道也 …… 2

■ インフォメーション

3月発刊!

「JAPIC医療用医薬品集 普及新版 2020」…………… 4
「日本の医薬品 構造式集 2020」…………… 4

セミナー開催のご案内

GS1ヘルスケアジャパン協議会10周年記念オープンセミナー …… 5

■ トピックス

第146回薬事研究会を開催しました …… 6

JAPICサービスの紹介「添付文書関連の情報提供」…………… 8

■ 外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報よりー(抜粋) …… 10

■ 図書館だより No.356 …… 11

■ 情報提供一覧 …… 11

2

February
2020
No. 430

JAPIC
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

巻頭言

kantohgen

私たちの健康と環境



一般財団法人 日本医薬情報センター
産業医・医学博士

大高 道也

Ohtaka Michiya

はじめに

人は生まれてこの方、好むと好まざるとに関わらず、自らを取り巻く環境のもとに過ごしている。健やかで快適な生活環境の確保はライフサイクル（一生）を通じての課題であると言えよう。今も家庭、学校、職域、地域、国、世界等のレベルで種々の環境課題が議論されており、本稿が読者にとって健康と環境との関わりを再認識する一助となれば幸いである。

「環境」との出会い

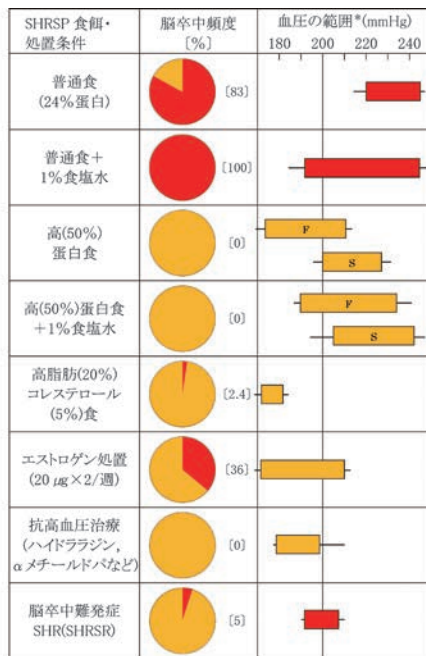
健康との関わりから「環境」を意識しはじめたのは、いつ頃からであったろう。そういえば、私が医学生の際には大気汚染や水質汚濁、騒音などによる公害が大きな社会問題となっていた¹⁾。1970年の「公害国会」では公害対策基本法改正案（後に、環境基本法）、廃棄物処理法案等の関連14法案が可決成立し、1971年には環境庁（現・環境省）が発足した。

仕事で環境問題に向き合ったのは、医師として厚生省（現・厚労省）に入ってから、とくに環境庁及び青森県に出向したときである。環境庁では大気保全等に取り組んだ。また、青森県環境保健部では、「生き生き健康県民運動」を創設したほか、環境衛生や自然保護にも力を注いだ。着任してまもなく、遺伝資源の宝庫ともいえるブナの原生林、白神山地の実態調査を企画・実行し、その報告書は後に世界遺産条約の基礎資料ともなった²⁾。十和田八幡平国立公園の50周年に際しては、記念式典後の懇親会の席上、このまま別れるのは惜しいと青森・秋田両県等のリーダーに提案して、「十和田湖環境保全会議」を発足させた。同会議が今も継続されていることは貴重である。

「生活習慣」という環境

行政に入る前にも「環境」に取り組んだ時期がある。心臓外科医から予防医学を志向し、京大の病理学教室等を経てさる国立大学の文部教官（病理学）に就いた。この間、脳卒中ラット等のモデル動物を用いた実験病理学と併せ、地域の人々の健診や疫学調査に取り組む中で、高血圧に係る脳卒中等が遺伝と環境の相互作用によって引き起こされること、また、食生活等の環境要因の改善によって予防できることなどを明らかにした（図）³⁾。がんを含め成人病は生活習慣病と呼ばれるようになった⁴⁾。

介護老人保健施設における勤務経験の中で、脳卒中や心臓病等が高齢者のADL（日常生活動作）や認知機能の低下の要因となっている事例に少なからず遭遇し、かつてこれら疾病の予防を願った意義を改めて認識させられる。発症要因の解明を含め疾病の予防対策は今も私のライフワークの一つとなっている。



*15 から 45 週齢の血圧
SHRSP は脳卒中易発症ラット、SHRSR は脳卒中難発症ラット。

図 脳卒中ラットにおける食餌条件などの脳卒中予防効果 (Fは魚粉蛋白, Sは大豆蛋白) (文献3)

「体内環境」を意識する

我が国ではじめてノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士は、物理学を学び始めた動機として、自分がどのような世界に生きているかを探求したかったからと述べておられる。世界を環境と置き換えることもできよう。他者のみならず自分自身も世界を構成する一員であることが認識される。

日常生活における環境は自分を取り巻く「外部環境」を指すが、自分の内にも生命や健康を支える「体内環境」が存在する。例えば血液は正常な場合、電解質等が一定の枠(基準値)内に留まっている。19世紀にフランスのクロード・ベルナールが見出したこのような特性は、20世紀に米国のキャノンによって恒常性(ホメオスタシス)と名付けられた。その働きは、神経・免疫・内分泌系等の相互作用によるとされる。

空気や水・食物等に紛れて病原微生物等が体内に侵入する懼れもある。医薬品等についてはその恩恵とともに副作用も重視されている。なお、最近では腸内環境を整える腸内細菌叢(腸内フローラ)等の働きも解明されてきた。

その他、光、熱、音、振動、電磁波、放射線等の体外の環境因子も人体に影響を及ぼす可能性がある。2011年3月11日14時46分に発生した東日本大震災についても、体内での放射線被ばくを防ぐため、一時期、一部の食品の出荷停止、摂食禁止、乳児の水道水飲用禁止などの措置が取られている⁵⁾。これからは体内の赤ちゃんを含め子どもにも大人にも優しい環境を造っていきたいものと思う。

環境は健康、経済等と深く関わっており、地熱や水力等の小規模発電を含め再生可能エネルギーのさらなる展開、2019年ノーベル化学賞受賞の吉野彰氏らが開発したリチウムイオン電池のなお一層の有効活用にも期待したいところである。

「自然環境」と子らの健全な成長

リスクファクター(危険因子:RF)ということばはよく使われるが、筆者はさらにベネフィット・ファクター(恩恵因子:BF)を提案したい。薬用植物を含

め自然界には多くのBFが存在する⁶⁾。

我が子を東京で育てることになって、困ったなと思った。田舎と比べて緑が少ないように思えたのだ。子育ては自然との共同作業である。自分の幼少期の琵琶湖畔での遊び体験、水泳、魚捕り、トンボやセミの採集、ボート漕ぎ、月光浴などを思い起こし、できるだけ自然に触れさせるよう試みた。かつての青森市内の我が家では、カッコウが午睡を誘い、朝には川から数羽の白鳥がクワッ、クワッと飛んできたものだ。

光合成を行い、酸素等を供給する植物は動物にとって不可欠な存在である。森林浴、温泉、ウィンタースポーツなど、緑(みどり)に触れる効用、BFをさらに研究・理解する必要がある。視覚への緑の優しさやフィトンチッド(森林の香り)のもたらす心理的効果については、緑の豊富な空間環境では1.5~2.0倍程度の心拍数の回復率が得られたとする研究報告もある⁵⁾。さらに、街路樹には車の排気ガス中のNOx(ノックス:窒素酸化物)等を吸着する作用もある。

「地球環境」

2019年9月23日にニューヨークで開かれる国連気候行動サミットを前に、気候危機への対策を求める、若者による世界一斉デモが20日、163カ国・地域で行われた、と報道されている。ときあたかも、我が国では、9月上旬に台風15号が過去最強クラスの勢力で関東地方に上陸し、大規模停電等の被害をもたらした。続いて、10月中旬には、大型台風19号が東日本を縦断し、想像を上回る河川の決壊等により100人近い死者・行方不明者ほか甚大な被害を生ぜしめた。

地球の温暖化と気候変動、海洋の汚染、オゾン層の破壊、生物の多様性の衰退、熱帯雨林の減少、砂漠化の進行などは、今や私たち“地球市民”一人ひとりにとって待ったなしの課題と言えるのかもしれない。

おわりに

「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」(建築物衛生法)には、空気、水質等のビルの環境管理に必要な種々の管理基準が示されている。建築物環境衛生管理技術者を目指す方々を対象にかつて講義を担ったこともある筆者には、今も気づかされることが多い。それらの管理基準が、規模の小さな介護保険施設、福祉施設等にも活用できること⁷⁾、さらには、産業医の担う労働衛生の3管理-作業環境管理、作業管理、及び健康管理にも応用できることなどである。

今回、環境について健康との関わりから書き始めたが、いつしか、健康から生命、暮らし、そして未来へと視野が広がっていくこととなった。環境は特別視するものではなく、自らの身近な課題として捉えていくべきものと気づかされる。

参考文献

- 1) 京都大学工学部:昭和45年度大学開放講座-われわれの生活と公害. 1970.
- 2) 青森県:白神山地自然環境保全調査報告書(赤石川源流),他2部. 1987-1990.
- 3) 家森幸男,堀江良一,大高道也,深瀬政市. 脳卒中モデル(SHRSPラット)における食餌における脳卒中予防. 最新医学. 1977, vol. 32, no. 12, p. 2256-2263.
- 4) 国立がん研究センターがん予防・検診研究センター. がんを防ぐための新12か条. がん研究振興財団. 2011.
- 5) 大高道也. 連帯の医学. 京都大学学術出版会, 2013, 340p.
- 6) Norman Taylor(難波恒雄, 難波洋子訳注). 世界を変えた薬用植物. 創元社, 1972, 470p.
- 7) 大高道也. 介護保険施設における健康管理と環境衛生管理. ビルと環境. 2017, no. 157, p. 62-65.

3月発刊!

JAPIC医療用医薬品集 普及新版2020

毎年大好評の『JAPIC医療用医薬品集 普及新版2020』を3月中旬に発刊いたします。

本書はコンパクトなA5判で2020年1月までの添付文書情報を収録しておりますので、毎年8月発刊の医療用医薬品集のハンディ版あるいは追補版としてもご活用いただけます。

《本書の特長》

- ・「JAPIC医療用医薬品集」収録内容から臨床で利用する頻度の高い〔組成、効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、使用上の注意（相互作用、副作用、妊産婦・高齢者・小児投与に関する項目等）、半減期〕を抽出、要点に絞って編集し、一回り小さいA5判のハンディサイズにまとめました。
- ・2020年1月時点までの約2,300成分、約21,000製品の最新医療用医薬品情報を収録しております。
- ・医療用医薬品集に比べページ数は約半分となり、価格もお求めやすくなっております。

価格：4,800円（+税）。A5判 約2,000ページ（販売：丸善出版株式会社）



日本の医薬品 構造式集 2020

『日本の医薬品 構造式集 2020』を3月上旬に発刊いたします。

化学構造式にはきわめて多くの関連情報が含まれており、それらの情報から医薬品の代謝や薬理作用などを類推することができ有益です。最新の構造式を収録した書籍は他に見られないことから貴重な資料となっております。

《本書の特長》

- ・「JAPIC医療用医薬品集2020」収録成分から一部の高分子製剤、低分子製剤などを除く約1,400成分の構造式を収録しております。
- ・各成分には構造式のほか、一般名・化学名・薬効分類・効能効果・分子量・分子式を記載しております。
- ・索引は五十音（和文）索引とアルファベット索引の2種類を収録。五十音索引では製品名による検索ができます。
- ・お求めやすい価格に改定しました。

価格：1,800円（+税）。B5判 約200ページ（販売：丸善出版株式会社）



セミナー開催のご案内

GS1ヘルスケアジャパン協議会では、以下のオープンセミナーを開催いたします。

GS1ヘルスケアジャパン協議会10周年記念オープンセミナー



The Global Language of Business

平成から令和へ

～より良い医療の未来を実現するために今考えること～

GS1（ジーエスワン）とは、商品を識別するコード、それを表示するバーコードなどの国際ルールを定める団体です。世界各国で国際規格であるGS1バーコードを医薬品・医療機器に表示する動きが出てきており、日本でも2019年11月27日に薬機法改正案が国会で可決され、公布後3年以内に施行される予定です。

すでに物流の効率化だけでなく、医療の質や安全の更なる向上を目指して、医療の現場でGS1バーコードの活用が始まっています。本セミナーでは、先進的な活用事例や今後の医療情報の展望についてご紹介します。

GS1バーコードを活用することで、正確なモノの識別・記録・入力作業の効率化を達成しましょう。



日時 : 2020年3月5日（木）13:00～17:30
会場 : THE GRAND HALL 東京港区「品川駅」港南口より徒歩5分
参加費 : 無料（右のQRコードからお申込みください）



<https://eventregist.com/e/OX5VCar9zhLX>

プログラム	※プログラムは変更となる可能性があります。	演者（敬称略）
12:30-13:00	受付開始/企業展示ブース見学	
13:00-13:05	開会挨拶	GS1ヘルスケアジャパン協議会 主査/ 市立伊丹病院 病院事業管理者 中田精三
13:05-14:00	日本の医療の将来像	津田塾大学 教授/前中央社会保険医療協議会 会長/ 日本コーサビリティ医療情報化推進協議会 代表理事 森田 朗
14:00-14:30	GS1ヘルスケアジャパン協議会の10年を振り返って	GS1ヘルスケアジャパン協議会 会長/ 東京医療保健大学 学事顧問 落合慈之
14:30-15:00	休憩/企業展示ブース見学	
15:00-16:30	最近の動向と今後 (GS1解決セッション)	GS1ヘルスケアジャパン協議会/京都第二赤十字病院 医療情報室長 内科部長 (座長) 田中聖人 厚生労働省医薬安全対策課 安全使用推進室長 田中大祐 宮城県立こども病院 診療情報室 渡邊 勝 杏林大学医学部付属病院 薬剤部薬剤科長補佐 若林 進
16:30-17:00	未来の医療情報の在り方	GS1ヘルスケアジャパン協議会副会長/ 国立国際医療研究センター 医療情報基盤センター長 美代賢吾
17:00-17:30	閉会/企業展示ブース見学	

事務局 : GS1 Japan (一般財団法人 流通システム開発センター) TEL 03-5414-8535 Mail dsh16@dsri.jp

第146回薬事研究会を開催しました



JAPICでは、医薬品・医療機器企業、医療機関、薬局の皆様等を対象に、薬事情報に関する「薬事研究会」を開催し、厚生労働省が推進する法制度の趣旨や実施内容等の周知を行っております。

今年度は12月6日（金）に日本薬学会長井記念ホールにおいて、第146回薬事研究会を開催いたしました。当日は130名の方にご参加いただきました。

今回の薬事研究会では、最近の医薬品に関する安全対策行政について、厚生労働省および独立行政法人医薬品医療機器総合機構から講師をお招きし、ご講演いただきました。

まず「安全対策行政の最近の動向」と題して関野秀人先生（厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課長）にご講演いただきました。

関野先生からは

「制度改正の動向」

「濫用のおそれのある医薬品対策」

「市販後安全対策にあたって」

とのタイトルで適正使用につなげる適正販売の徹底、市販後安全対策を取り巻く課題・話題についてご講演いただきました。

また、薬事研究会開催直前の12月4日に「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等の一部を改正する法律」が公布され、通知も発出されたこともあり、制度改正については総括製造販売責任者の選任に関する要件の見直し、添付文書情報の電子的提供、製品を特定するための符号等の記載等について、改正法と照らし合わせながらご説明いただきました。

次に「最近のPMDAの医薬品等の安全対策について」と題して井口豊崇先生（独立行政法人医薬品医療機器総合機構医薬品安全対策第二部長）にご講演いただきました。

井口先生からは

「最近の安全対策業務を取り巻く状況」

「情報の収集と情報の処理・発信」

「最近の安全対策関連トピビア」

とのタイトルで条件付き早期承認制度・先駆け審査指定制度等の新しい取り組みの法制化や、患者からの副作用報告の安全対策への活用、本格運用後のMID-NETの行政利活用、病院・薬局におけるRMPの利活用状況等の市販後安全対策における課題をご講演いただきました。

JAPICではこれからも、医薬品に関する安全対策や審査行政の現状等について講師をお招きし、薬事研究会を開催してまいります。紙面でお伝えできることには限りがありますので、ぜひご参加いただき、聴講していただければ幸いです。



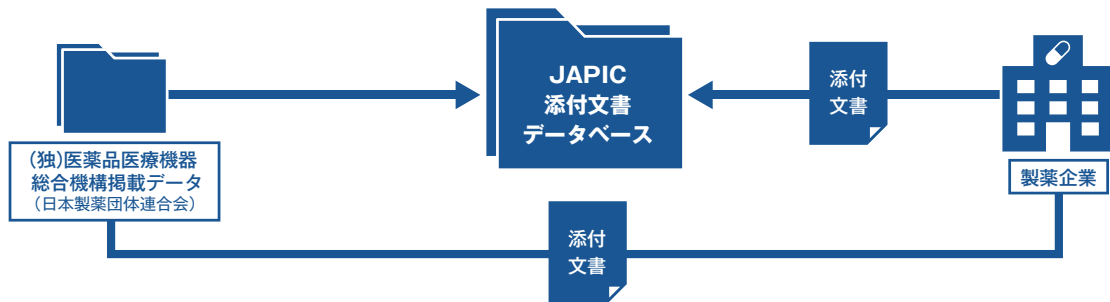
—医薬品添付文書情報関連データ—

添付文書関連の情報提供

最新の添付文書情報のデータを、ご希望に沿った形式でご提供します。

■電子データの提供形式について

添付文書に記載されている全ての情報を、各サービスを通じてご希望に沿ったデータ形式でご利用いただけます。



医療用医薬品添付文書情報データ 毎月更新

XML

TEXT

PDF

JAPICでは、常に最新の医療用医薬品添付文書データを手し、XMLデータ、カンマ区切りテキストデータ、及び添付文書PDFをご提供しています。



XML形式



テキストデータ形式

医薬品と対応病名データ 毎月更新

TEXT

処方薬に対応する標準病名が選択できます。医療用医薬品添付文書の効果効能とこれに対応する標準病名を関連付けており、病名から医薬品の選択の際の支援やレセプト請求時の病名と医薬品の確認等ができることにより、オーダーリングシステムや電子カルテシステムにご利用いただけます。カンマ区切り形式・テキスト (.csv) 形式でご提供しています。



その他のご提供データ 毎月更新

一般用医薬品添付文書情報データ

医薬品名称データ

用法用量データ

相互作用データ

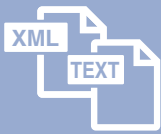
禁忌データ

医薬品写真データ

承認品目全データ*

*毎年更新

様々なご要望にお応えするサービスをご利用用途に合わせてお選び下さい



提供仕様

マスターデータ

- 医薬品情報を管理するためのマスターデータが欲しい
- 電子カルテ、オーダリングの組み込みデータとして利用したい
- レセプトチェック時のマスターデータとして利用したい
- 医薬品情報のDBを構築するデータとして利用したい

医療用医薬品添付文書

一般用医薬品添付文書

医薬品名称

医薬品と対応病名

禁忌

相互作用

用法・用量

承認品目全データ



提供仕様

データベース

- 薬効分類、医薬品名、会社名以外の項目でも検索・絞込みをしたい
- 添付文書PDFを無料で参照したい
- レセプトチェックの参考として、医薬品に対応した標準病名を調べたい
- 医薬品名称の類似性による取り違いリスクを減らしたい
- 後発医薬品の効能効果・用法用量・添加物を比較したい

PharmaCross（医薬品情報総合検索サービス）

iyakuSearch（医薬品情報データベース）

医薬品と対応病名検索システム“病名ナビ”

医薬品類似名称検索

ブルーブック連携データベース

医薬品情報ナビ

外部機関から提供しているJAPICデータベース



提供仕様

CD-ROM

- パソコンで簡単に利用したい
- 院内医薬品集作成に利用できるようなツールが欲しい

医療用・一般用医薬品集インストール版(CD-ROM)

OTC 医薬品 CD-ROM

JAPIC PIA（ジャピックピア）



提供仕様

出版物

- 薬局・医事課の参照情報として
- 低価格でコンパクトな医薬品集が欲しい
- この病気に使える漢方薬を知りたい
- 医療用医薬品の構造式を確認したい

医療用医薬品集

医療用医薬品集 普及新版

識別コード一覧

日本の医薬品 構造式集

一般用医薬品集

漢方医薬品集

添付文書記載病名集

成分から調べる医薬品副作用報告一覧

外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より－(抜粋)

2019年12月1日～12月31日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No. 730-733) の記事から抜粋

■米FDA

- ・更新情報: AbiomedのImpella RP Systemを使用している患者における死亡率の増加: 医療従事者向けレター
<<https://www.fda.gov/medical-devices/letters-health-care-providers/update-increased-rate-mortality-patients-receiving-abiomed-impella-rp-system-letter-health-care>>
- ・Class I リコール: Medtronic, ポンプモーターアセンブリ内の異物によりポンプモーターの失速につながる可能性があるため, SynchroMed II埋め込み型薬剤注入ポンプをリコール
<<https://www.fda.gov/medical-devices/medical-device-recalls/medtronic-recalls-synchro-med-ii-implantable-drug-infusion-pump-due-potential-presence-foreign>>
- ・FDA Drug Safety Communication: 米FDA, 痙攣発作および神経痛治療薬gabapentin (Neurontin, Gralise, Horizant), pregabalin (Lyrica, Lyrica CR) における重篤な呼吸障害について警告
<<https://www.fda.gov/media/133681/download>>

■カナダHealth Canada

- ・GILENYA (fingolimod) - 先天性奇形のリスク
<<https://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2019/71921a-eng.php>>

■英MHRA

- ・Press release: 黄熱ワクチンに対する勧告事項の強化
<<https://www.gov.uk/government/news/strengthened-recommendations-for-the-yellow-fever-vaccine>>
- ・悪心と嘔吐に対するdomperidone: 小児における有効性の欠如: 成人および青年の禁忌に関する再注意喚起
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/domperidone-for-nausea-and-vomiting-lack-of-efficacy-in-children-reminder-of-contraindications-in-adults-and-adolescents>>

■仏ANSM

- ・避妊用インプラントNexplanon: 特に肺動脈における移動リスクを低減するための措置の強化
<<https://www.ansm.sante.fr/S-informer/Actualite/Implant-contraceptif-Nexplanon-renforcement-des-mesures-de-reduction-du-risque-de-migration-notamment-dans-l-artere-pulmonaire-Point-d-Informationn>>

■豪TGA

- ・更新情報－tocilizumabと肝毒性
<<https://www.tga.gov.au/publication-issue/update-tocilizumab-and-hepatotoxicity>>
- ・metformin: 豪TGAの調査 - N-nitrosodimethylamineによる汚染の可能性
<<https://www.tga.gov.au/alert/metformin>>

■ニュージーランド Medsafe

- ・Important Kadcylla (trastuzumab emtansine) に関するSafety Communication: KadcyllaとHerceptin (trastuzumab) 間の投薬過誤の潜在的リスク
<<https://www.medsafe.govt.nz/safety/DHCPletters/KadcyllaNovember2019.pdf>>
- ・ESBRIET (pirfenidone) と薬物性肝障害 (DILI) に関する重要な安全性更新情報
<<https://www.medsafe.govt.nz/safety/DHCPletters/EsbrietNovember2019pdf.pdf>>

■医薬品医療機器総合機構

- ・抗インフルエンザウイルス薬の使用上の注意に関する注意喚起の徹底について
<<https://www.pmda.go.jp/files/000232371.pdf>>
- ・「アレロック錠」と「アテレック錠」との販売名類似による取り違い注意のお願い
<<https://www.pmda.go.jp/files/000232847.pdf>>

■厚生労働省

- ・新たに1物質を向精神薬に指定
<<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000577446.pdf>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報 (海外) 担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介: <<https://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供をご希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。

この情報は附属図書館の蔵書検索 (<https://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧いただけます。

これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。

閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著者	出版者	出版年月
MIMS New Ethicals JAN-JUN 2020 Issue 32	Leilani Au ed.	MIMS (NZ) Ltd.	2020年

情報提供一覧

2020年1月1日～1月31日提供

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合はJAPIC 事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	https://database.japic.or.jp/
1. 「一般用医薬品 (経済課コード)」 2019年12月分 (HP定期更新情報掲載)	1月 1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. JAPIC 「医療用・一般用医薬品集インストール版 2020年1月版」	1月31日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. 「JAPIC NEWS」 No.430 2020年2月号	1月31日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1215-1218	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	月 1 回	7. 学会開催情報	月 2 回
4. 「JAPIC-Q 医療機器情報サービス」	月 2 回	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」 No.4529-4547	毎 日	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. 「JAPIC Weekly News」 No.734-737	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	https://database.japic.or.jp/
7. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」 No.831-834	毎 週	1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日

外部機関から提供しているJAPICデータベース

〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉 <https://jdream3.com/>

〈株式会社日本経済新聞社から提供〉 <https://telecom.nikkei.co.jp/>

日本の新薬

— 新薬承認審査報告書集 —

全97巻

◆最新の6巻を刊行。全97巻に!!

新薬67品目を追加し、全巻では1,252品目を収録。

◆新薬開発、薬事・市販後対応、医学・薬学教育に!!

本書は、新薬の承認審査における厚生労働省の「審議結果報告書」および(独)医薬品医療機器総合機構等の「審査報告書」をすべて収録しております。

◆お得で便利なセットでの購入をお勧めします!!

各巻 **22,000円** (+税)

追加分6巻セット **66,000円** (+税)

※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております。



一般財団法人 日本医薬情報センター (JAPIC) 編集・発行
丸善出版 株式会社 発売

JAPIC <https://www.japic.or.jp/>

上記書籍の他、電子カルテやオーダーリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。



このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

おおみれもん

「大実檸檬」と書く。学名;Citrus limon cv. Ponderosa. 英名; American wonder lemon. ミカン科ミカン属。常緑低木。19世紀末アメリカ・メリーランド州で発見されたユズとレモンの雑種。芳香性の白い花は四季咲き、冬には温室の中で咲く。果実はレモンよりはるかに大きく直径15cm程にもなる。果皮や果汁にはフラボン系配糖体のEriocitrin (脂質低下活性)等含有。(hy)



JAPICホームページより
<https://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。